

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 9 月 10 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 8 月 11 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ボストン大学(日本語名) Boston University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025 年 5 月～2025 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～1 月中旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	33, 000 人
創立年	1839 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USドル) (1 現地通貨 = 145 円)	B 日本円	備考
授業料	9,780	円	3 クラス分
宿舍費	5,292	円	
食費	2,280	円	Dinning plan 一番小さいプランに入りましたが、少なかつたので真ん中のプランがおすすめです。
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	0	0 円	
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)	626	円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費		25,085 円	形態:
渡航旅費		369,810 円	
ビザ申請費	535	円	
雑費		100,000 円	
その他	1,021	円	MLB 観戦チケット
その他	0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	19,534 (=2,832,430 円)	494,895 円	
総計(A+B) ※円		3,327,325 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：ボストン 経由地：

復路 出発地：ボストン 目的地：成田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：JAL

料金：¥369,810

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：

料金：

復路 航空会社：

料金：

∴合計：

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：JAL 公式)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：610 Beacon Street) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の公式ホームページ

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

設備は綺麗でルームメイトにも恵まれ快適に過ごすことが出来ました。駅のすぐ近くなのでアクセスもいいです。また、留学生が多い寮で共有部分も多く、イベントなども定期的に行われていたので友達は作りやすいと思います。ただ、キッチンが寮全体で一つしかなく、時間帯によっては混んでいて自炊しづらいです。また、マットレスが硬すぎて最初の方は寝つきが悪くなってしまうほどだったので、対策がおすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学や外務省からの情報を参考にしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wifi は問題なく使用できました。学外では、Softbank のアメリカ放題というプランを使い、問題なく使用できました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的には、デビットカードとクレジットカードを使っていました。米ドルに両替した現金も少し持っていき、友達との割り勘の際に使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にはないと思います。近くには日本食スーパーもあり、大体のものは現地で購入することが出来ます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

大学のアカウント上で、Summer1 の分は出国前にクレジットカードで支払い、Summer2 の分は留学先でクレジットカードで支払いしました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Diplomatic Practice	外交実践
科目設置学部・研究科	International Relations
履修期間	Summer1 6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 210 分が 2 回
担当教授	Vesko Garcevic
授業内容	外交の慣行と発展、国際機関の機能について 前半は主に講義形式、後半はイエメン紛争をテーマに模擬国連の実践をしました。
試験・課題等	オンライン形式の中間・期末試験、中間レポート、模擬国連の事前・振り返りレポート 課題は多く、少し大変でした。
感想を自由記入	一緒に授業を受けていた学生は、3, 4 年生の正規学生のみで授業内容は難しいと感じることも多かったです。しかし、教授がとても優しく、周りの友達もサポートをしてくれたため楽しく受講できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
General Psychology		一般心理学
科目設置学部・研究科	Psychology	
履修期間	Summer2 6 週間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 210 分が 2 回	
担当教授	Chloe Jordan	
授業内容	心理学の基礎的な内容	
試験・課題等	毎授業行われる小テスト、毎週末の小課題、中間・期末試験、最終レポート 小テストで満点が取れなかった場合は、授業後にオンライン上でボーナスクイズに回答することで落とした点数を補うことができます。また、中間・期末試験は手書きの A4 用紙一枚の持ち込みが可能です。	
感想を自由記入	元々大学で勉強していた内容に近い分野であったため、難易度はそこまで高くなかったです。教授もとてもいい人で評判がよく、一緒に受けている学生の数も多かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Principles in Sociology		社会学原理
科目設置学部・研究科	Sociology	
履修期間	Summer2 6 週間	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 210 分が 2 回	
担当教授	Cati Connell	
授業内容	社会学の基礎的な内容、様々な社会学的理論、概念、および研究手法について	
試験・課題等	毎授業の予習・リアクションペーパー、フィールドワークのレポート・スライド・個人発表 課題は比較的少なく、難易度も易しかったです。	
感想を自由記入	とても明るい教授で楽しく、様々な社会問題を取り上げていて面白かったです。フィールドワークのテーマは自分で好きなように決められるため自由度が高かったです。受けた授業の中では一番負担の少ない授業でした。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の
変化等を教えてください。

私は留学中にサマーインターンの選考を受け、参加もしていました。面接やグループディスカッションは基本的にオンラインでの実施で、テストセンターなども海外から受験することが出来ます。過去の留学報告書を見ても、就活との両立に関する情報が少なく、その点が不安で留学に行くかどうか悩みましたが、両立できたので留学を諦めないでよかったです。時差や情報格差というハンデはありますが、意外とどうにかなるので、もし同じような不安を抱えている方が居たら、就活が理由で留学を諦めないで欲しいです。両立のためには留学前から就活に関する情報収集をし、スーツや面接用のライトを持っていくなど事前準備をしておくのがおすすめです。また、留学中だと日本にいる友達との情報交換が難しく、孤独を感じる中で就活で辛いと感じることもあると思いますが、それを乗り越えると帰国後の就活を進めていく上での自信にもなるので気負いすぎず頑張ってください。一方で、外資系企業など選考開始時期の早い一部の業界を志望する方にとっては、3 年の春学期という時期の留学はハンデになる可能性があります。自分の志望業界の選考時期をきちんと調べた上で、留学に行くかどうかや時期を決めるのがおすすめです。また、せっかくの留学期間にもかかわらず就活に時間を割くことに葛藤もあったので、両立ではなく留学に集中する選択も一つの手だと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	IELTS 取得
	10 月 ～ 12 月	TOEIC 取得
留学開始年	1 月 ～ 3 月	出願
	4 月 ～ 7 月	航空券購入、ビザ申請・取得、留学開始
	8 月 ～ 9 月	帰国
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学生活はとても楽しく、ボストンという素敵な街で充実した日々を過ごすことが出来ました。ボストン大学を選んだ理由は、治安が良く、街並みも綺麗な学術都市であるボストンに惹かれたからです。実際、抱いていたイメージ通りの街で、また戻りたいと毎日のように思っています。またボストン大学は非常に大きく、街全体が大学の敷地という感じがします。そのため勉強に集中する環境が整っており、素敵な友達にも恵まれたのでこの大学を選んでよかったと感じています。治安も良く、夜でなければ一人でも出歩けたので移動の自由が利いたのもよかったです。

留学中は何でも積極的に取り組む、やりたいと思ったことは全部やる、どんなこともポジティブに捉えるということを意識していました。最初は授業についていけるか、友達を作れるか心配で、そもそも知らない土地に一人で行くこと自体不安で怖かったです。実際辛いと思うこともたくさんありましたが、落ち込んでいても何も始まらないので自分を奮い立たせて、限られた時間を最大限生かせるように意識しました。楽しいことや、日本では味わえないような面白いこともたくさん経験できるのでとても充実していて思い出がいっぱいです。

私の留学時期は平均的な時期より遅めだったと思います。実は元々は留学するつもりがなかったのですが、2年時のある出来事がきっかけで急遽留学を考え始めました。しかし大半の留学プログラムは、応募から渡航まで1年ほどかかってしまうため、卒業時期をずらしたくない私は行くことを諦めかけたこともありました。そんな私にとって、応募から半年ほどで渡航できるサマープログラムぴったりでした。もし同じような境遇の方が居たらぜひ選択肢に入れてみてほしいです。他にも、3年以降の留学は就活との両立など懸念点が多く、2年時の留学に比べて留学に踏み出しづらいような気がします。私自身もかなり悩みましたが、後悔のない選択をしたいと思い留学に行くことを決めました。留学に挑戦できるタイミングは限られているので、行ける時・行きたいと思った時にできるだけ早く行くのがいいのではないかと思います。結果的に、留学に行く選択をして本当に良かったと感じています。不安なことや大変なこともあるけれど、深く考え込みすぎないで飛び込んでしまえば意外とどうかなるものだなと感じる留学生活でした。なので、「あの時行っておけば」と後悔しないためにもぜひ留学に挑戦してみてください。